

会計名			夢と学びの科学体験館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	5							

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心				
		基本施策	子育て支援				
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援				
	目的	夢と学びの科学体験館の適切かつ効率的な運営を図るため、施設の維持及び安全管理を行い、科学の楽しさを体験できる機会を提供する。			主たる内容	○サイエンスショーの実施 ○館内施設機能を維持するための各種点検や清掃、保守管理、警備等の実施	
		位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画			
		根拠法令	児童福祉法				
		対象者	市民	事業期間		平成27年度～	
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					

BDO 事業実績 計画 実施 V	成果	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画	
		・サイエンスショーの実施 ・加藤与五郎実験教室の実施 ・科学体験講座の実施 ・簡単工作の実施		・サイエンスショーの実施 ・加藤与五郎実験教室の実施 ・科学体験講座の実施 ・簡単工作の実施		・サイエンスショーの実施 ・加藤与五郎実験教室の実施 ・科学体験講座の実施 ・簡単工作の実施		・サイエンスショーの実施 ・加藤与五郎実験教室の実施 ・科学体験講座の実施 ・簡単工作の実施	
		サイエンスショー企画運営業務を委託し実施するとともに、科学体験講座、簡単工作を実施し、多くの子どもたちが科学の楽しさを体験することができた。また、加藤与五郎実験教室を実施し、子ども達に実験等体験学習を通して「発明発見科学する心」を育てることができた。							
		来館者のニーズを捉えつつ、科学への興味を高めるサイエンスショー、科学体験講座、簡単工作を実施していく。また、同志社大学と連携した加藤与五郎実験教室の実施や企業との連携により、子どもたちにより深く科学への興味を持たせる。							
	課題								
	指標名称（単位）				実績値			目標値	
					3年度	4年度	5年度	6年度	8年度
		活動指標	開館日数（日）	311	309	310	310	310	
		成果指標	来館者数（人）	154,022	155,321	160,598	184,000	202,000	
他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費 ①		38,381	43,516	47,948	61,470	合計	47,947,636 円
	財源	特定財源	4,984	6,663	6,316	6,196	報償費	24,000 円
		一般財源	33,397	36,853	41,632	55,274	需用費	17,180,110 円
	職員人件費 ②		18,548	16,188	19,182	19,384	役務費	158,472 円
	総事業費（①+②）		56,929	59,704	67,130	80,854	委託料	24,841,160 円
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称		使用料及び賃借料	5,733,894 円
		5年度までの累積事業費		0	施設賠償責任保険金、土地建物貸付収入、実験ラボ参加料、簡単工作参加料		負担金、補助及び交付金	10,000 円
		7年度以降の事業費見込		0				

会計名			夢と学びの科学体験館管理運営事業	担当部	次世代育成部		
一般会計				担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目		担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	5					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	科学技術に関する知識を小中学生を中心とする幅広い世代の市民にわかりやすく伝え、市民と科学の架け橋としての役割を果たしている。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	寄付金収入による館内案内用設備等設置、民間団体の協賛を得て大学との連携により高度な科学的講座を開催する等、より効率的に効果の高い運営に努めている。サイエンスショー等の業務委託など専門性の高い事業をより効率的に実施するように努めている。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	「ものづくりのまち刈谷」や理科教育を推進する刈谷を感じてもらえるよう科学体験、サイエンスショーを通して科学の楽しさを体験できる機会を創出することにより、科学への興味を深めてもらうと共に刈谷への知識も持ってもらえるよう努めている。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	来館者に科学体験、サイエンスショー、科学教室等適切なサービスを提供することにより、科学に対する知識・興味を持ってもらい、「ものづくりのまち刈谷」紹介展示を通して、広く知ってもらえるよう多くの来館者を迎えることができる様に努めている。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		科学体験、サイエンスショー、簡単工作など科学に興味を持ってもらえる情報の提供と体験をとおして、「ものづくりのまち刈谷」、「理科教育を推進する刈谷」のイメージ作りを今後も図っていく。また、施設の維持管理・運営については事業委託など効率的な運営を行いコストダウンに努める。来館者の多い休日運営を今までどおり進めていくと共に、平日の運営を見直すことにより、学校行事の振替休日による休校日にも子ども達の居場所づくりとしての価値を高める。教育機関、民間団体との連携により、より専門性の高いプログラムの提供を行い、科学への興味、ものづくりへの興味をより多くの子どもたちに持ってもらえるよう務めていく。					

会計名			特別企画展開催事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援							
	目的	科学にまつわる企画展を開催し、子どもたちに広く科学の楽しさにふれる機会を創出することで、次代を担う人材の育成に寄与する。				主たる内容	春、夏、冬の学校等の長期休業中の特別企画として企画展示及びテーマに合わせたプラネタリウム番組の投映を行う。			
		位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	児童福祉法							
		対象者	市民		事業期間		平成27年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		・デジタルスポーツミュージアム 4月1日～5月9日 18,515人 ・デジタル恐竜ランド 7月17日～9月5日 39,451人 ・錯覚ふしぎな世界 12月18日～2月6日 16,203人 ・わくドキ！宇宙ランド 3月12日～3月31日 10,830人		・わくドキ！宇宙ランド 4月1日～5月9日 17,866人 ・いきものウォッチング 7月15日～9月5日 34,441人 ・色と光の魔法展 12月16日～2月6日 18,602人 ・まわれ！ぐるぐる展 3月17日～3月31日 9,814人		・まわれ！ぐるぐる展 4月1日～5月8日 16,560人 ・科学ニンジャ学校 7月14日～9月4日 39,511人 ・でんきのふしぎミュージアム 12月15日～2月5日 18,802人 ・超すごくてポンコツなからだのしくみ展 3月15日～3月31日 11,124人		・超すごくてポンコツなからだのしくみ展 4月1日～5月6日 ・科学捜査展 7月12日～9月2日 ・冬の特別企画展 12月13日～2月3日 ・春の特別企画展 3月14日～3月31日		
成果		学校等の長期休業期間に合わせて、企画展の開催及びテーマに合わせたプラネタリウム番組の投映をすることにより、来館者へ科学に触れる機会を提供することができた。								
課題		冬の特別企画展期間中の来館者が少ないため、開催期間等の検討が必要である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		開催日数（日）			138	141	142	146	146	
成果指標		期間中来館者数（人）			84,999	80,723	85,997	98,000	107,000	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		20,921	20,978	20,613	22,500	合計	20,612,550 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	550,550 円		
		一般財源	20,921	20,978	20,613	22,500	委託料	20,062,000 円		
	職員人件費 ②		8,328	7,529	7,673	7,753				
	総事業費（①+②）		29,249	28,507	28,286	30,253				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称				
		5年度までの累積事業費		0						
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			特別企画展開催事業		担当部	次世代育成部	
一般会計					担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目			担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	5					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	学校の長期休業にあわせ特別展示を行うことにより、子どもたちの科学への興味を高めることができる。また、休業中に行うことにより、家族で過ごす時間を創出することもできる。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	期間を限定して開催することにより、来館者を増やすことができ、多くの子どもたちの科学への興味を高めることができる。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	理科教育、科学への興味を子どもの頃から持たせることにより、教育効果を高めるとともに、特別企画展開催により普段と違うものづくりや科学への興味を持たせることができる。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	長期休業中の子どもたちの居場所として家族で過ごせる場を提供することにより、新たに来館するきっかけ作りや再来館を促し、集客につなげることができる。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		学校の長期休業中の子どもたちの居場所づくりとしての価値を高めるとともに、教育機関、民間との連携により、専門性の高いプログラムの提供を行い、科学やものづくりへの興味をより多くの子どもたちに高めてもらえるよう努めていく。					

会計名			プラネタリウム管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	5							
PLANハ計画V	事業概要	総合計画 施策体系	分野	福祉安心					
			基本施策	子育て支援					
			施策の内容	地域における子ども・子育て支援					
		目的	プラネタリウムで一般投映や学習投映等を実施し、子どもたちを中心とした利用者の星や宇宙への関心を高める。				主たる内容	○一般投映や学習投映の実施 ○プラネタリウムコンサート等イベントの実施	
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令							
	対象者		市民			事業期間	昭和56年度～		
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B事業実績Oハ実施V	事業実績	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画
・一般投映 ・学習投映（幼児園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会			・一般投映 ・学習投映（幼児園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		・一般投映 ・学習投映（幼児園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		・一般投映 ・学習投映（幼児園、保育園年長、小学4,6年生） ・プラネタリウムコンサート ・プラネタリウム講演会		
成果			子どもたちの星や宇宙への関心を高めるため、一般投映のほか学習投映や特別投映を行い、市内外の子どもたちをはじめ多くの人に鑑賞してもらうことができた。また、プラネタリウムの特性を活かしたコンサートや講演会を行い、幅広い年齢層の人にプラネタリウム施設を紹介できた。						
課題			多くの人に楽しんでもらえるよう、様々な番組等情報の提供を行うことにより、星や宇宙への興味を高めて来館者の確保に努める。また、平日の観覧者数が増えるよう投映内容等を検討する。						
		指標名称（単位）		実績値			目標値		
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度	
活動指標		プラネタリウム投映回数（回）		777		785	772	800	800
成果指標		プラネタリウム観覧者数（人）		31,413		33,121	35,815	41,000	45,000
他市との比較検証									
C事業コスト	単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費 ①		19,665	23,397	18,518	102,164	合計	18,518,087 円	
	財源	特定財源	5,079	5,384	5,935	5,820	旅費	121,790 円	
		一般財源	14,586	18,013	12,583	96,344	需用費	4,404,907 円	
	職員人件費 ②		21,198	19,576	21,484	21,710	役務費	2,200 円	
	総事業費（①+②）		40,863	42,973	40,002	123,874	委託料	13,946,200 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称		使用料及び賃借料	22,990 円
		5年度までの累積事業費		0		プラネタリウム使用料		負担金、補助及び交付金	20,000 円
		7年度以降の事業費見込		0					

会計名			一ツ木児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	5							

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心										
		基本施策	子育て支援										
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援										
		目的	一ツ木児童館を適切に管理運営をすることにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し情操を豊かにする。		主たる内容	一ツ木児童館の指定管理者を指定し、地域児童館の管理運営を行う。 開設場所 一ツ木福祉センター内							
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画										
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン										
	対象者	市民	事業期間	平成10年度～									
		実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
	BDO 事業実績 計画 実施 V	3年度実績	子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		4年度実績	子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		5年度実績	子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		6年度計画	子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。	
			成果	指定管理者として刈谷市社会福祉協議会を指定し、一ツ木児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにすることができた。									
課題			児童向けの行事を展開し、魅力的かつ安全な児童館の運営に努める。										
指標名称（単位）			実績値			目標値							
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度						
活動指標		一ツ木児童館開館日数（日）	308	308	308	308	308						
成果指標		一ツ木児童館利用者数（人）	7,606	7,675	15,320	16,800	18,000						
他市との比較検証													
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳					
		事業費①		8,540	8,439	9,336	9,132	合計	9,336,000円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	9,336,000円					
		一般財源	8,540	8,439	9,336	9,132							
	職員人件費②		2,271	1,506	1,535	1,551							
	総事業費（①+②）		10,811	9,945	10,871	10,683							
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称								
		5年度までの累積事業費		0									
		7年度以降の事業費見込		0									

会計名			なののはな児童館管理運営事業				担当部	次世代育成部		
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館		
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館		
3	2	5								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安心							
		基本施策	子育て支援							
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援							
	目的	なののはな児童館を適切に管理運営することにより、健全な遊びを通して児童の健康を増進し情操を豊かにする。				主たる内容	なののはな児童館の指定管理者を指定し、地域児童館の管理運営を行う。 開設場所 老人デイサービスセンターなののはな2階			
		位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	児童福祉法、児童館ガイドライン							
		対象者	市民		事業期間		平成23年度～			
	実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画		
		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成することができた。		子どもたちに遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、心身ともに健やかに育成する。		
成果		指定管理者として医療法人光慈会を指定し、なののはな児童館の管理運営を行うことにより、健全な遊びを通して子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにした。								
課題		児童向けの行事を展開し、魅力的かつ安全な児童館の運営に努める。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		なののはな児童館開館日数（日）			308	308	286	308	308	
成果指標		なののはな児童館利用者数（人）			6,379	6,393	6,458	7,100	7,800	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳		
	事業費①		5,496	5,715	5,789	6,431	合計	5,789,014 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	5,789,014 円		
		一般財源	5,496	5,715	5,789	6,431				
	職員人件費②		2,271	1,506	1,535	1,551				
	総事業費（①＋②）		7,767	7,221	7,324	7,982				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	5年度特定財源名称					
		5年度までの累積事業費		0						
		7年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設管理事業				担当部	次世代育成部	
一般会計							担当課	夢と学びの科学体験館	
款	項	目					担当係	夢と学びの科学体験館	
3	2	6							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	子育て支援						
		施策の内容	地域における子ども・子育て支援						
	目的	交通児童遊園を安全かつ効率的に管理運営することにより、屋外型児童厚生施設として子どもたちに健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、情操を豊かにする。				主たる内容	交通児童遊園の指定管理者を指定し、施設の適正な管理運営を行う。		
		位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画					
		根拠法令	児童福祉法						
	対象者	市民			事業期間	昭和50年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
	BDO 事業実績 計画V	3年度実績		4年度実績		5年度実績		6年度計画	
		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営した。		児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を安全で効率的に管理運営する。	
成果		児童にとって健全な遊び場であり、健康を増進し情操を豊かにする場としての交通児童遊園を、安全で効率的に管理運営することができた。							
課題		来園者が多く駐車場が混雑するため、誘導員を配置して安全の確保に努める。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			3年度	4年度	5年度	6年度	8年度		
活動指標		交通児童遊園開園日数（日）		288	277	279	290	290	
成果指標		交通児童遊園遊具等利用状況（人）		1,285,964	1,345,593	1,316,413	1,400,000	1,500,000	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）	5年度事業費内訳	
	事業費①		144,567	141,799	157,758	176,838	合計	157,758,325円	
	財源	特定財源	59,231	69,969	68,209	64,758	役務費	35,501円	
		一般財源	85,336	71,830	89,549	112,080	委託料	151,760,824円	
	職員人件費②		2,650	2,635	3,069	2,714	工事請負費	5,962,000円	
	総事業費（①＋②）		147,217	144,434	160,827	179,552			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		5年度特定財源名称			
		5年度までの累積事業費		0		交通児童遊園遊具使用料、行政財産目的外使用料、土地建物貸付収入、施設賠償責任保険金			
		7年度以降の事業費見込		0					